

●生産性の向上を実現

～新製品「USG-3」、「USG-2CL」～

2017年6月に小型量産パーツ向けのベストセラー機種(IGVシリーズ)に比べ、機械幅を大幅に抑えた超小型立形研削盤USGシリーズの第2弾「USG-3」並びに、エンジンカムや油圧関係のポンプ加工向けの立形高速カム研削盤「USG-2CL」の2機種を発表いたしました。

新製品のコンセプトは「フロアスペースの効率化による、生産性の向上」。

2機種とも従来機に比べ機械幅を大幅に削減することで、工場の生産性を飛躍的に高めております。

今後とも当社は、お客様のニーズを満たす製品・技術の開発に常にチャレンジし、世界の製造業の発展に貢献してまいります。



USG-3
超小型立形研削盤
自動車用ミッションギア等
小型量産部品の加工向け

USG-2CL
立形高速カム研削盤
自動車用エンジンカム、
油圧ポンプ部品等の加工向け

●太陽工機プライベートショー2017

2017年6月22日～23日の2日間、当社本社工場にて太陽工機プライベートショー2017を開催いたしました。当プライベートショーは2009年より毎年開催しており、2012年からは2日目に一般の方向けの公開も行っております。

当プライベートショーでは新製品の「USG-3」と「USG-2CL」を始め、2015年に発表後好評をいただいている「PGV-3」や「CVGシリーズ」、汎用性を重視した「Vertical Mate®シリーズ」、高精度・高性能を追求した「NVGHシリーズ」、小型部品の加工に長年ご支持をいただいている「IGVシリーズ」を含む、合計40台以上の多彩なラインナップを出展いたしました。

今年も昨年同様に来場者数は1,000人を超え、お客様とは熱意のこもった商談が行われました。展示会中には当初計画を上回る受注・引合をいただくとともに、今後の技術開発や事業展開につながる貴重なご意見やご要望もいただくことができ、大変実りの多い展示会となりました。

今後とも当社は、お客様の多様なニーズに確かな答えを提供し続けてまいります。



(2017年6月30日現在)

●設立年月日	1986年3月14日
●資本金	7億32万8,200円
●発行可能株式総数	9,000,000株
●発行済株式の総数	2,978,200株
●本社所在地	新潟県長岡市西陵町221番35
●従業員	203名
●主な事業内容	工作機械(各種研削盤)の開発・製造及び販売

●ネットワーク

国内拠点	本社・工場(長岡)	海外駐在拠点	中国(北京)(上海)
	東部営業所(さいたま)		アメリカ(シカゴ)
	中部営業所(名古屋)		ドイツ(フランクフルト)
	西部営業所(大阪)		(ビーレフェルト)
			タイ(アユタヤ)

●株主メモ

事業年度	1月1日～12月31日
期末配当金受領株主確定日	12月31日
中間配当金受領株主確定日	6月30日
定時株主総会	毎年3月
株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社

同連絡先 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8番4号
TEL 0120-782-031(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)

公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL
<http://www.taiyokoki.com>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

ホームページのご案内

当社の詳しい情報はホームページよりご覧いただけます。



<http://www.taiyokoki.com>

第33期(中間期)
Business Report

2017年1月1日～2017年6月30日

株式会社 太陽工機



株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

当社における第33期中間期(2017年1月1日から2017年6月30日まで)の事業の概況をとりまとめましたので、ここにご報告を申し上げます。ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

2017年9月

代表取締役社長 渡辺 登



当中間期(第2四半期)の営業概況

当第2四半期累計期間の工作機械業界は、日本工作機械工業会が発表した工作機械受注実績(平成29年1月1日から平成29年6月30日まで)が前年同期比で21.1%増加し、外需内需ともに回復基調が鮮明になってまいりました。

こうした状況の中、当社の受注状況も国内を中心に好調となっており、受注額は前年同期を上回る高水準で推移しております。特に、産業機械関連企業や自動車関連企業からの設備投資需要の取り込みに成功し、大口受注や複数台受注を多数獲得いたしました。また海外においても、中国や韓国を始めとしたアジア地域、米州、欧州等の幅広い現地ユーザーからの受注が増加してきております。

営業施策としては、本社工場を利用したプライベートショーや世界4大工作機械見本市である中国国際工作機械見本市(CIMT2017)に出展することで、当社製品の技術力をアピールするとともにユーザー層の拡大を積極的に行ってまいりました。

製品面では、6月に小型量産部品加工向けの超小型立形研削盤「USG-3」及びエンジンカムや油圧関係のポンプ加工向けの立形高速カム研削盤「USG-2CL」を発表いたしました。

当第2四半期累計期間の受注高は4,720,716千円(前年同期比60.2%増)となりました。

売上高は、3,378,711千円(前年同期比0.0%増)となりました。損益は、営業利益423,003千円(前年同期比8.5%減)、経常利益415,965千円(前年同期比8.7%減)、四半期純利益277,693千円(前年同期比3.8%減)となりました。

当中間期の業績

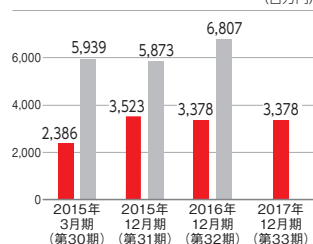
売上高
33億78百万円

営業利益
4億23百万円

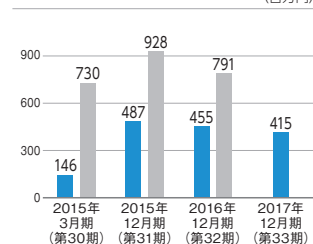
経常利益
4億15百万円

四半期純利益
2億77百万円

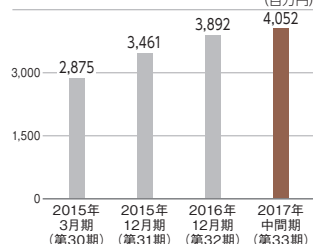
売上高 (百万円)



経常利益 (百万円)



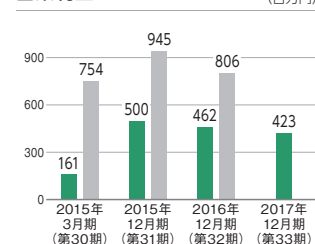
純利益 (百万円)



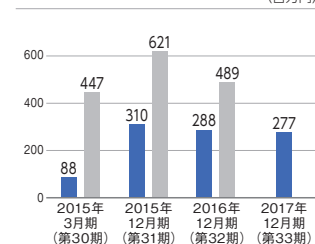
品目別売上高構成比



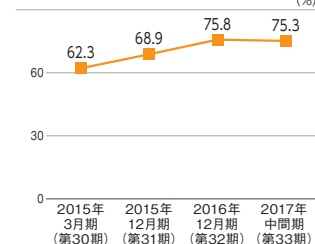
営業利益 (百万円)



純利益 (百万円)



自己資本比率 (%)



財務諸表

(注)金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位:千円)

科 目	前期末	当中間期末
	2016年12月31日現在	2017年6月30日現在
【資産の部】		
流動資産	3,930,493	4,173,117
固定資産	1,207,704	1,206,790
(有形固定資産)	(1,094,596)	(1,085,580)
(無形固定資産)	(32,863)	(35,001)
(投資その他の資産)	(80,243)	(86,209)
資産合計	5,138,197	5,379,908
【負債の部】		
流動負債	668,888	784,082
固定負債	576,942	543,296
負債合計	1,245,831	1,327,379
【純資産の部】		
株主資本	3,892,366	4,052,529
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	472,960	472,960
利益剰余金	2,752,845	2,913,008
自己株式	△33,768	△33,768
純資産合計	3,892,366	4,052,529
負債純資産合計	5,138,197	5,379,908

損益計算書

(単位:千円)

科 目	前中間期	当中間期
	自 2016年1月1日 至 2016年6月30日	自 2017年1月1日 至 2017年6月30日
売上高	3,378,137	3,378,711
売上原価	2,352,838	2,373,098
売上総利益	1,025,299	1,005,613
販売費及び一般管理費	562,994	582,610
営業利益	462,305	423,003
営業外収益	6,739	5,922
営業外費用	13,383	12,960
経常利益	455,660	415,965
特別利益	2,036	—
税引前四半期純利益	457,696	415,965
法人税等合計	168,928	138,272
四半期純利益	288,768	277,693

(注)第31期より決算期を3月31日から12月31日に変更しております。そのため、決算期変更の経過期間となる第31期は9ヶ月間の変則決算となります。また中間につきましては、第30期から第31期は4月1日から9月30日まで、第32期からは1月1日から6月30日までの6ヶ月間となります。